

東海新報

平成23年(2011年) 4月14日 木曜日

負けるな 心をひとつに
気仙!! 復興目指して 一歩ずつ前へ!

大船渡市の無料バスで新たに2路線を追加、アクセス充実へ……3面
大船渡、陸前高田両市の仮設住宅着工状況、住田町は申し込み終了……4面
綾里漁港の「大徳丸」津波後も無傷で生還、地元漁業者の支えに……5面

©東海新報社 〒022-0002 大船渡市大船渡町字鷹頭 9-1 編集専用TEL080-1661-0671 営業・新聞専用TEL080-1661-0672

被災者500人雇用へ

がれき撤去業者にあつせん

大船渡市は東日本大震災で被災した市内在住者約500人に対し、がれき撤去や分別作業をあっせんする事業を始めた。市が希望を取りまとめ、発注した建設業者の意向を聞きながら振り分ける。全壊被害を受けた事業所などを中心に従業員を確保し、動きがある中、市では雇用不安解消を図ることとしている。

市内では11日から、がれき撤去業者が本格化。大船渡支所の金野健一支部長は「重機を操作する従業員は確保しているが、トラックに手が届かない状況。今後、撤去業者の雇用を確保し、市内で働く機会を創出したい」と話している。



市内各地で本格化したがれき撤去＝大船渡町

人手確保と生活支援で

大船渡市は被災者約500人に対し、がれき撤去や分別作業をあっせんする事業を始めた。市が希望を取りまとめ、発注した建設業者の意向を聞きながら振り分ける。全壊被害を受けた事業所などを中心に従業員を確保し、動きがある中、市では雇用不安解消を図ることとしている。

大船渡で353億円

大震災による 県が推計額まとめる

県は12日、東日本大震災による大船渡市の被害状況を調査し、被害額を推計した。震災津波の農林水産関係と商工業関係の推計被害額をまとめた。農林水産関係は4億6千万円、商工業関係は307億7千万円、合計312億3千万円と推計した。

「国・県の対応遅い」

仮設住宅や がれき撤去 県市長会で指摘相次ぐ

県市長会(会長・谷藤谷明盛)は12日、同日市内13市で開かれた市長会(会長・谷藤谷明盛)で、仮設住宅やがれき撤去の遅延について、国や県の対応が遅いことを指摘し、改善を求めた。

大船渡市

先着順となっている。乗船受付は午前8時から、各地区本部では午前8時30分から午後5時まで。早ければ来週前半から、現場作業が始まるという。

がれき除去と共同で

陸前高田市での遺体捜索

大船渡市による、がれき撤去と共同で、陸前高田市での遺体捜索が行われている。

大船渡市

大船渡市による、がれき撤去と共同で、陸前高田市での遺体捜索が行われている。

「ふじ丸」先着

客船「ふじ丸」が15日午前8時に大船渡港に到着し、被災者支援活動を行う。

住田町

住田町は、被災者支援活動の一環として、仮設住宅の建設を進めている。

安否情報

安否情報に関する最新ニュース。被災者の安否を確認し、支援活動を進めている。



陸前高田市の戸羽太市長も出席し開会で黙とうした県市長会

県市長会(会長・谷藤谷明盛)は12日、同日市内13市で開かれた市長会(会長・谷藤谷明盛)で、仮設住宅やがれき撤去の遅延について、国や県の対応が遅いことを指摘し、改善を求めた。

世迷言

「地について話を忘れた。通信手段を確保しておくのが政治というものであり、現代科学の粋を集めればそんなことはいくらでもできる。昔の人はいかに不便な状況でも、通信手段を確保して、情報をやり取りしていた。それが現代では、通信手段を確保して、情報をやり取りしている。それが現代では、通信手段を確保して、情報をやり取りしている。」

お知らせ

この度の大震災で被害を被られた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。一日も早く復旧されますよう心からお祈り申し上げます。弊社も事務所を全壊しましたが、復旧に向け皆様と共に全力を尽くしていきたいと思っております。下記に事務所を移し営業しております。尚、陸前高田市内に売地・宅地を保有しておりますのでお気軽にご相談下さい。

ご案内

この度の大震災で被害を受けられました皆様へ心よりお見舞い申し上げます。一日も早く復旧されますよう心からお祈り申し上げます。

固定電話復旧までの間、下記までご連絡下さい。 **080-1654-5765** **がんばろう 気仙!!**

株式会社 **長谷川建設** 長谷川ホーム

株式会社 **巨理建設** 代表取締役 巨理 榮好